



## フェアトレード ～カカオの単一栽培が招く森林破壊のスパイラル～

前回、カカオの栽培には子供が奴隷として働かされている話をしました。奴隷労働が行われる背景には、カカオの国際価格の暴落、暴落の原因には世界各地でのカカオ生産の増大・供給過剰があります。



カカオは、もともと日陰で育つ植物で他の植物の間に植えられて栽培されてきましたが、1970年代に日なたでも栽培可能な品種がつけられました。これにより、**熱帯雨林を大規模に破壊した栽培**が進められました。

新しい品種は収量が多い分、**大量の化学肥料と農薬**を使用します。カカオに吸収されなかった化学肥料は、やがて**地下水に溶け込んで水を汚染**します。強い農薬の使用は、**作業する人たちの健康を害**します。農薬の使いすぎは、**害虫や病原菌に耐性を持たせて病気や害虫の大発生を招**きます。そして、これが**農民が畑を捨てる原因**となります。

その後、農民は他の場所でまた新たに森を切り開きカカオを植えて、また同じことを繰り返し行い、畑を捨てていきます。

こうして、カカオ栽培による**環境汚染**と**森林伐採**が繰り返されていきます。

少しでもこの森林破壊の渦を止められるように消費者側から出来ることを考えてみませんか？

